



テクニカル・メッセージ

エアサスペンション付きトラック

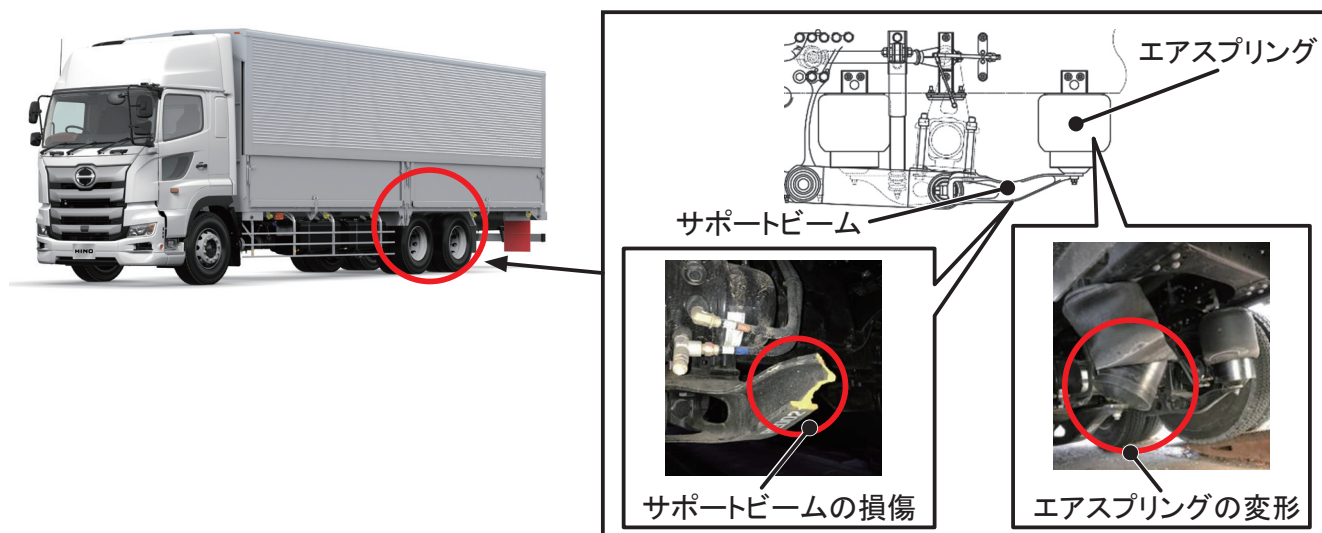
積荷が偏っていると、エアサスペンションに過大な負荷を与える可能性があります

エアサスペンション装着車において、積荷の重心が偏った状態で走行したことで、エアサスペンションのサポートビームに過大な負荷が掛かり、エアスプリングの変形やサポートビームを損傷した事例があります。片荷等の重心が偏る積載は避けるようお願い致します。

■ 対象車両

ポスト・ポスト新長期規制 大型トラック、中型トラック エアサスペンション搭載車

■ 積荷の重心が偏った状態で走行しエアサスペンションが損傷した事例

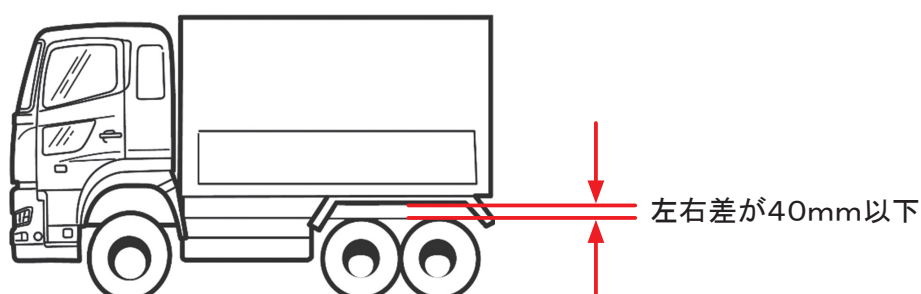


■ 積荷の際の注意点について

◆積荷の重量が左右均等になるようにしてください。

	左右均等	片側に偏り	左右で重量差がある
積荷の状態			

◆リヤタイヤ（後2軸車は後後輪）タイヤハウス隙間の左右差が40mm以下になるようにしてください。



日野自動車

■ 取扱説明書の記載について

取扱説明書に記載されている積荷の際の注意事項を一部抜粋して紹介致します。

積荷

積荷は最大積載量以上は積まないでください。

⚠ 警告

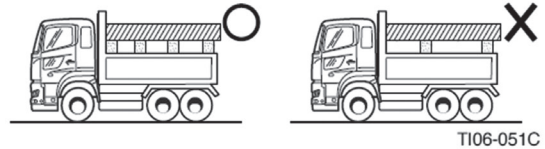
- 過積載は法律で禁止されています。
過積載をすると、通常より制動距離が延びるなど、思わぬ事故や故障の原因になります。また車両各部の損傷を早めます。
- 積荷が滑りやすく、あるいはバランスをくずしやすいときは、積荷の滑り止めを行い、その上にワイヤーやロープで確実に荷台に固定してください。固定しないと制動時・旋回時に荷ずれを起こすおそれがあります。
- シート掛けやロープ掛けのとき、シートの端やロープがキャブと荷台の間に垂れ下がらないようにしてください。
走行中、キャブと荷台の間に燃えやすいものがあると、エンジンの熱により火災の原因になります。

👉 アドバイス

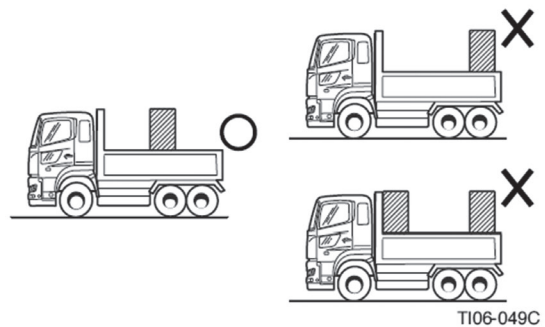
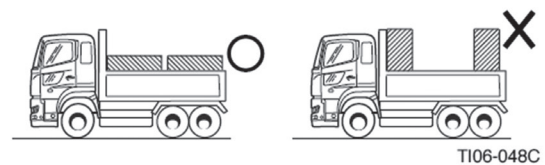
誤った積み方をしないでください。積荷が不安定となるばかりでなく、集中的に荷重がかかり、荷台やフレーム周りを傷めるおそれがあります。

■ 荷の積み方

積荷の下にウマを用いるときは、ウマの位置に注意し均等に支えてください。



積荷は均等に積んでください。均等に積めない場合は極力荷台の中心付近に積んでください。



長尺物は極力荷台後端より出さずウマを使用してください。なお、鳥居と荷台後端部の2点で支持するのは避けてください。

